



読字故原田 親

No. 785

2016/ 1/5

日中友好新聞

発行所

 日本中国友好協会
 〒113 0065 東京都千代田区
 西神田1-4-1 第17号243室

日中友好協会

岡山支部

 〒703 8256
 岡山県赤松市3-8-30 514
 TEL: 086(2)72-3010
 郵便番号119
 01250-01-3835

日中友好協会

倉敷支部

 〒712 8011
 倉敷市連島中央1-8-4
 (宮地方)
 TEL/FAX: 0861446-2711

 日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rzhong.biz/>
 メールアドレス
 rzhong86@hotmail.co.jp


恒例の手作り望年会

—十二人の初参加者を含む三十六人で開催—

12月20日、午後3時30分より民主会館で日中友好協会岡山支部の望年会を会員・友好団体など36人の参加で行いました。参加者の内訳は次のとおりです。

○日中岡山支部の理事・監査9人。

○中国帰国者とその家族6人。

○中国語講座の関係者9人。

○河井理事の友人3人。

○その他(県議・市議など)9人。

今回は、岡山県華僑華人総会の姜延樞事務局長、倉敷



支部の太漏事務局長、倉敷芸術科学大学の川上助教など12人が初めての参加でした。

会は、小林事務局長と馬小菲さんの司会のもとに進められました。宇野支部長は、開会のあいさつで日中友好新聞「おかやま」の記事をもとに、岡山支部の一年間の活動を紹介しました。その中で、

安全保障関連法の廃案・廃止の運動に日中岡山支部及び会員が、どう取り組んできたのか、詳しく話しました。来年も引き続き、法案を廃止するためにがんばる決意を述べました。竹内理事長の乾杯のあと歓談に入りました。今岡さんなど中国帰国者による水餃子、救援会の山崎さんのおでん、真田さんの野菜のサラダ、稲葉さんのおにぎり及び何曉麗さんのお母さんの中国料理などを美味しくいただきました。お酒は、河井理事が高知県の土佐まで出かけて買ってきた「尤条の酒」でした。

高杉さんの二胡による里

の秋」、益田さんのハーモニカによる「ふるさと」の演奏、さらに山根さんが自分の人生を歌にして披露しました。帰国者の思いがこもった出し物に、会場が盛り上がりました。

倉敷支部結成10周年・望年会

12月5日、18:00から市内の中華料理店にて、支部結成10周年記念・前事務局長宮地義男さんのお疲れさん会・中国検定合格者(2級・3級)お祝い会を兼ねた、望年会をしました。

会の冒頭栗本泰治理事長は、ごんち、日中関係が最悪といわれる中での当支部の前進は、「日中友好は平和の基礎」中国は大切な隣国、もつと友好を」と思う、市民の願いに応えたもので、貴重な運動です。」と今年度の支部の



活動を讃え、それに力をお寄せ下さった方々へのお礼を述べました。

さらに加えて 中国脅威論や中国経済低迷論は、中国けん制の軍事的対応に力を借りた日本社会に蔓延する事実を見ない悪口の産物で、来年は、それに負けないさらなる運動を」と決意を語りました。

小林軍治岡山支部事務局長・中丸雄司水島協同病院事務局長・党倉敷市議団田辺昭夫氏らが来賓として駆けつけて



くださいました。参加者全員が近況や来年の抱負を語り合いとても楽しい会でした。なかでも会員自作の歌の披露は好評でした。また今回の検定で2級に合格された犬飼さんは2級の受験料は高い、もつ



とみんなが挑戦すれば受験料が安くなるのでは」と笑いの中にも、とても前進的な発言があるなど明るさが弾ける望年会でした。



「15年戦争」

歴史学習会が開かれました！

第4回 満蒙開拓団とは」という演題で、11月27日の第4回金曜日に、岡輝公民館で開かれました。講師はもちろん青木康嘉さんです。

3名で出発。これが第一次武装移民団で、入植したのが弥栄村。しかし交通は不便だし、匪賊は横行する。この地は開拓不適地だ！として百数十名の脱落者が出た。

“満蒙開拓団の創設は、1931年に加藤完治が提案、それに関東軍司令部付の東宮鉄男（とうみやかねお）が賛同しすめられた。1932年3月1日 満州国「建国。9月1日募集開始、5日で締切。9月10日から18日間訓練、平均年齢26歳。10月5日総勢42

1933年に第二次武装移民団が弥栄村の南 千振開拓団に入植している。もちろんそこには現地の農民たちがいたわけだが、満拓公社が安く土地を買いあさり、土地を追われた農民は、苦力」となった。

1934年土竜山事件が起きている。土竜山一帯の土地

を関東軍が強制的に買収したことに不満をつのらせた農民たちが武装蜂起したのである。軍の死者だけでなく、第一次、第二次移民団員からも戦死者が三十名余り出ている。

満州国への移民は、日本人社会を形成し、開拓団内での生活が完結していた。学校も日本人のみに設けられていた。そのため中国人集落や朝鮮人部落との接触は限られていて、現地人と同化しなかった。

ソ連参戦時の 満蒙開拓団「在籍者は約27万人であった。当時人口約3000万人の満州へ150万人の移民を日本が送り込んだわけである。

このような満蒙開拓団を送り出した背景について、国策、

経済不況、町村財政の破たん、マスメディアの扇動報道、等々を挙げられている。

岡山県の開拓団について、送り出した開拓団員数2898人。（全国25位）主な開拓団の岡山県出身者は、柳樹河開拓団（460人）、龍爪開拓団（229人）、七虎力開拓団（320人）、大主上房開拓団（154人）、浩良大島開拓団（267人）、天理村岡山郷（411人）などがある。死者775人、行方不明者233人、実に3人に1人が帰国していない。

以上は、すべて青木さんの資料から抜粋しました。

真田

日本共産党県委員会と懇談

12月16日に開かれた理事会は、日本共産党県委員会から、同党の提案した 戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府」について説明を受け、懇談を行いました。

冒頭、松田準一同党県副委員長が 提案」の趣旨を説明、①戦争法廃止、安倍内閣打倒の運動をさらに発展させる、②戦争法廃止の国民連

合政府をみんなでつくる、③そのために野党が選挙協力をするという3つの提案を紹介しました。

懇談のなかでは、共産党の提案には賛成、ぜひ実らせてほしいという感想が出されるところにも、素直な疑問や意見も出されました。ある理事から、戦争法廃止の2000万署名にとりくんでいるが、街

ネパール旅行（2）

今回の旅は同じような経験を重ねた旅でもありました。

私たちが訪れたのは、壮大な棚田がはるか遠くに見える山間地。牛、やぎ、にわとり、を家族のように大事にして、山からの豊富な水で生活していました。電気もあるにはあるけれども、まだまだ、量的には少ないのです。今までの寄付もあつて各家庭にはソーラーパネルが取り付けてありまし

な子どもにも遊びを指導して15〜6人の集団で遊んでいました。私が住んでいる市内ではあまり見られなくなった光景でした。今、発達の遅れのある子どもたちの学習権のことが問題になっていますが、どの子も集団の中で育てられている。ここでは、あまり問題にならないです。



ヒマラヤ山脈を眺めながら歩いているとどこからともなく、少年達がやってきて、絵葉書のように写真に納まってシャッターを切ると、give me money」と寄る姿に何とも言えない気持ちになりました。確かに貧しさから抜きたいのは誰もが持っています。

もし、健康で元気でいたなら、10年後にもう一度訪れたいです。

頭での反応はもう一つという意見が出される一方、他の理事から、いろんな知り合いに気軽に呼びかけると、ほとんどの人が協力してくれるという経験も出されました。世論にアピールするという点では街頭での宣伝・アピールは大切だし、同時に、それぞれがつながりを通じて署名を広げることも重要だ、このとりくみを通じて世論を変えることが大事では…など活発な意見が交わされました。

戦争法を廃止して、日本の

次回の新聞送付作業は1月12日（火）午後1時半から民主会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方です。

石川 林 和 裂
小 竹 内
竹 内
西 森